



金秀グループが寄付金を贈呈

創業から68周年を迎えた金秀グループ(呉屋守将会長)から、西原町人材育成会に対し100万円の寄付がありました。5月29日に行われた寄付金贈呈式で呉屋会長は「有用な人材を育成して、地域の発展につながるようお願いしたい」とあいさつがありました。また、同グループの創業者で西原町名誉町民である呉屋秀信さん(字我謝出身)から、母校の西原中に30万円を寄付がありました。



呉屋秀信さん(左から2人目)、呉屋守将さん(右から3人目)

小学生がなぎなたの大会で、大活躍!

5月17日に与那原小学校で開催された与那原町長旗・町長杯争奪第32回沖縄県小学生・中学生なぎなた大会で、西原の児童が好成績を収めました。選手を代表して宮城心音さんは「大会に向けて中学生と練習してアドバイスをもらった。今後は演技も競技もより上位に入れるようにがんばりたい」と大会の感想を述べました。



右から、宮城心音さん、瀬長拓夢くん、砂川凜さん、宮平沙和さん

【個人試合】
小学校3年生の部1位/瀬長拓夢(西原小3年)、小学校4年生の部2位/砂川凜(琉大附属小4年)、小学校5年生の部3位/宮城心音(西原小5年)
【演技競技】
小学校3・4年生の部2位/宮平沙和(西原小4年)



役場を出発するようす

パレードで、水の大切さをアピール

水道に対する理解と関心を高め、水源の大切さを呼びかけることを目的として、6月1日に節水パレードが行われました。このパレードは、西原町と西原町管工事協同組合(呉屋博幸理事長)が合同で毎年実施しているものです。パレードでは水道関連の事業所などが、節水を呼びかける看板やのぼりを車に付けて、町民に節水を呼びかけました。出発式で呉屋理事長は、「パレードを通じて、限りある水資源の大切さを伝えたい」と抱負を述べました。また、出発式では、町管工事協同組合から町人材育成会への寄付金贈呈が行われました。



記念誌をもつ女団協のみなさま

女団協のこれまでをまとめました

5月28日に西原町役場で、西原町女性団体連絡協議会設立20周年記念誌『人の輝きつむぐ にしはらのうないたち』の出版祝賀会が行われました。宮城幸子実行委員長は「記念誌を作成することができてよかった。20年の歩みは小さな活動の積み重ねだが、それは大切な歩みでした。これからも住みやすい社会のためにがんばりましょう」と記念誌発行の喜びと今後の抱負を語りました。

不法投棄はやめましょう

廃棄物の不法投棄及び不適正処理の防止を図ることを目的として、6月1日にパトロールと清掃活動が行われました。パトロールの出発式で、呉屋勝司総務部長が「不法投棄をさせない環境づくり、廃棄物の適正処理にご協力をお願いします」と参加者に呼びかけました。不法投棄重点監視地点を中心にパトロールを実施し、投棄者を特定することを念頭に、不法投棄の現状確認が行われました。不法投棄重点監視地点の一つである森川地区では家庭系ごみ180kg、タイヤ4本、廃洗濯機2台が回収されました。



出発式のようす

マリントウンをきれいにしました

夏のシーズンを前に、マリントウン内を清掃する「ちゅら島清掃活動」が、6月7日(日)にありティータ公園周辺で行われました。マリントウンへの大型MIC施設建設が決まったことで、より発展が期待される地域となったこともあり、町民、企業、団体など合わせて400名余の方が参加していました。



参加者はあがりティータ公園を起点に道路や公園施設のごみ拾い、除草などを行いました。また、同地域にある沖縄森永乳業(株)から飲み物の提供があり、終了後に参加者へ配布されました。なお、今回の清掃活動で集められたごみの量は合計で1670kg(可燃ごみ1570kg、不燃ごみ10kg、資源ごみ10kg、その他のごみ80kg)でした。



上・右下・左中: 清掃活動のようす、左下: 集められたごみ

宇宙の学校

5月30日に西原町中央公民館で、「宇宙の学校」(西原町中央公民館主催)と題した講座が行われました。同講座は親子や仲間と一緒に、宇宙や自然科学をテーマに実験や工作、課題学習をおこなって、絆を強めることを目的として、5回に分けて開催されます。質疑応答の時間では、「子どもたちから『ブラックホールは何個ありますか?』『宇宙人はいますか?』など宇宙に関するさまざまな質問がありました。」



全体のようす



工作物をもつ子ども



質問のようす